

2. 火山の概況

(平成 16 年 8 月 19 日 ~ 平成 16 年 8 月 25 日)

浅間山では、熱、噴煙、地震活動のやや活発な状態が続いている。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は2。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

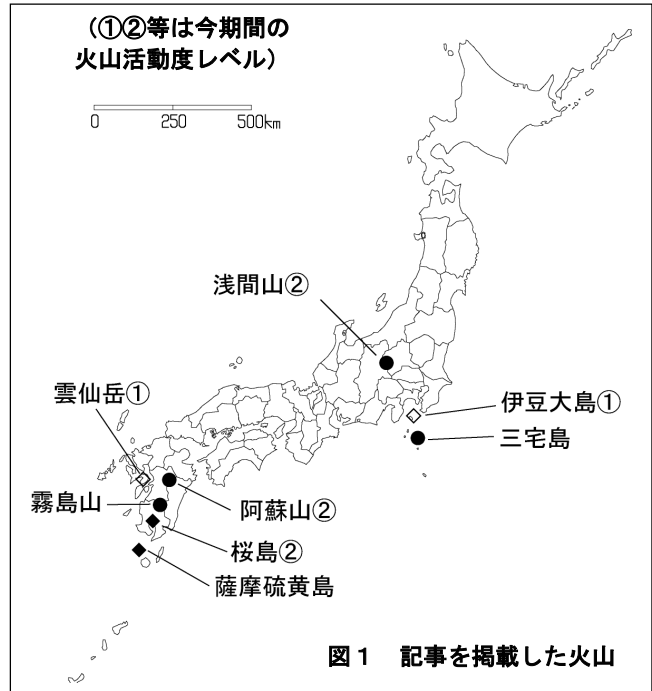


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

| 号 | 対象期間 | 浅間山 | | 伊豆大島 | | 阿蘇山 | | 雲仙岳 | | 桜島 | | 三宅島 | 福徳岡ノ場 | 霧島山 | 薩摩硫黄島 | 硫黄島 |
|----|------------|-----|----|------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-------|-----|-------|-----|
| | | レベル | 記号 | レベル | 記号 | レベル | 記号 | レベル | 記号 | レベル | 記号 | | | | | |
| 35 | 8/19- 8/25 | ② | ● | ① | ◇ | ② | ● | ① | ◇ | ② | ◆ | ● | | ● | ◆ | |
| 34 | 8/12- 8/18 | ② | ● | ① | ◇ | ② | ● | ① | ◇ | ② | ▲ | ● | ● | ● | ▲ | |
| 33 | 8/5- 8/11 | ② | ● | ① | ◇ | ② | ● | ① | ◇ | ② | ● | ● | | ● | | |
| 32 | 7/29- 8/4 | ①→② | ● | ① | ◇ | ② | ● | ① | ◇ | ② | ● | ● | | ● | | ● |
| 31 | 7/22- 7/28 | ① | ● | ① | ◆ | ② | ● | ① | ◇ | ② | ◇ | ● | | ● | | |

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

● 浅間山 [地震・熱・噴煙] レベル2 (やや活発な火山活動)

振幅の小さい地震は、今期間も1日あたり15~43回とやや多い状態が継続した。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでは、引き続き火口内に高温部が見られた。また、夜間に山麓の監視カメラ(高感度カメラ)で微弱な火映現象が観測された。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上600mまで上がるのが観測された。

地殻変動等には顕著な変化はなかった。

◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・火山ガス・地震]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上700mであった。

25日に行った上空からの観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量4,000~5,900トンで依然多い状態であった(図2)。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1日あたり13~29回とやや多い状態で推移した。

1) 海上保安庁の協力による

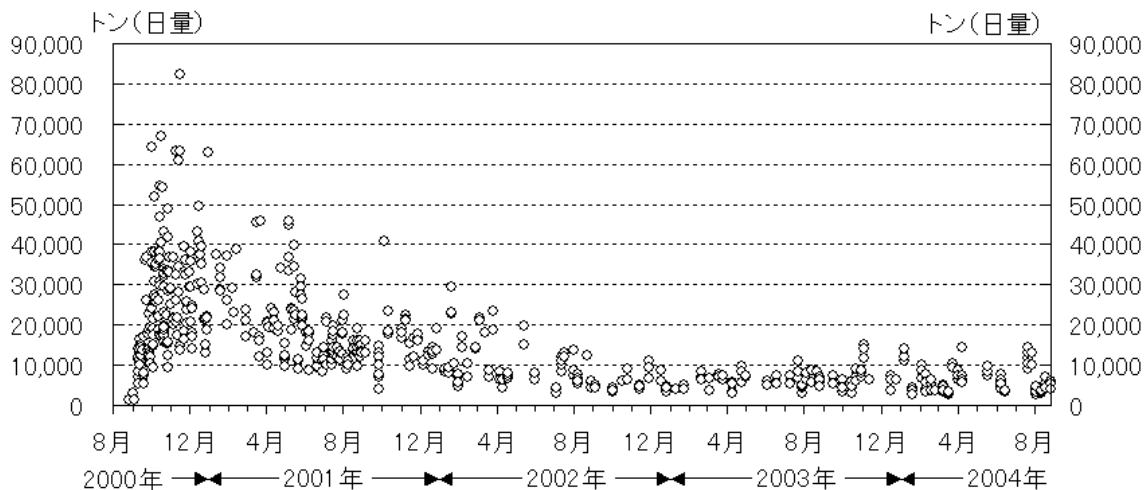


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移 (2000年8月26日～2004年8月25日)

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

20日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割、表面温度の最高は74℃(前期間は75℃)で、火口壁の最高温度は287℃(前期間は282℃)と依然高温状態にあった。湯だまりの中央部、西側及び南側で高さ約5m、その他数ヶ所で高さ2～3mの土砂噴出が発生していた。また、前期間に新たに確認された、火口底南西側の孤立したごく小さな湯だまり内でも、高さ2～3mの土砂噴出が発生していた。

期間中、火山性連続微動が継続した。孤立型微動の発生回数は今期間605回で前期間(589回)と同程度であった。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上400m(前期間700m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。22日及び24～25日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上400mであった。

◆ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火は発生しなかった(前期間は1回)。24日に火口上300mの灰白色の噴煙が観測されたものの、それ以外に有色噴煙は観測されず、噴煙活動も低調であった。期間中、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間は12日及び13日に観測され、降灰量は0g/m²(1平方メートルあたり0.5g未満の微量)であった)。

◆ 薩摩硫黄島

17日(前期間)以降噴火の発生はなく、地震活動も低調で、火山性微動は発生しなかった。

表 2 火山情報発表状況

| 火山名 | 情報の種類及び号数 | 発表日時 | 概要 |
|-----|---|-----------------------------|---|
| 浅間山 | 火山観測情報第4号 | 19日 15:00 | 火山活動は引き続きやや活発（微小地震やや多く発生、微動の発生回数減少、噴煙活動活発、火口底の高温状態継続、微弱な火映現象を観測）。レベルは2。 |
| 三宅島 | 火山観測情報第461号 ↓（1日2回発表） 火山観測情報第474号 | 19日 09:30 ↓ 25日 16:30 | 活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。 |
| 阿蘇山 | 火山観測情報第42号 | 20日 11:00 | 火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、湯量約3割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、微動連続状態）。レベルは2。 |